



2022年5月12日

各位

セキ株式会社  
 代表取締役社長 関 宏孝  
 (STANDARD・コード 7857)  
 問合せ先  
 役職・氏名 執行役員 経営管理本部長  
 吉川 浩司  
 TEL 089-945-0111

2022年3月期通期連結業績予想数値及び通期個別業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日に公表しました2022年3月期（2021年4月1日より2022年3月31日まで）の通期連結業績予想数値ならびに通期個別業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、これを公表することにつきまして、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想と実績値の差異

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異  
 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	12,000	120	280	180	43円21銭
実績値 (B)	11,165	189	422	323	77円76銭
増減額 (B-A)	△835	69	142	143	—
増減率 (%)	△7.0%	57.5%	50.7%	79.4%	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	11,620	114	331	201	48円45銭

2. 2022年3月期通期個別業績予想数値と実績値の差異  
 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	9,000	230	150	36円01銭
実績値 (B)	8,474	364	294	70円60銭
増減額 (B-A)	△526	134	144	—
増減率 (%)	△5.8%	58.3%	96.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	8,529	262	172	41円40銭

## 2. 差異が生じた理由

売上については、今期より適用となった収益認識会計基準等の影響により前回発表予想を下回りました。利益面については、付加価値の高い受注や採算の向上に努めたこと、また、水性フレキソ印刷関連において、新型コロナウイルスによる外国からの技術者の渡航規制により機械の最終調整が長引き、償却開始が想定よりも遅れたことなどで営業利益は前回発表予想を上回りました。それに加え、株式市況が好調を維持したことで有価証券の運用が想定を上回ったことにより、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び個別の当期純利益についても前回発表予想を上回ることとなりました。

以上